

# 3 NGOs/国連日本政府代表部共催 サイドイベント

JAWW

2023年2月27日

国際婦人年連絡会・学習院大学法学部教授

紙谷雅子

# サイド・イベントは 政府機関や国際機関とNGOsとが 一緒にニューヨークの国連で

JAWW（日本女性監視機構）、国連NGO国内女性委員会、国際婦人年連絡会という日本の3つのNGOsは、国連日本政府代表部と共催で、毎年3月に開催されてきたCSWの期間中に、CSWの主要テーマの理解を促し、実現をめざして、この10年余り、サイド・イベントを実施してきました。



2023年 CSW67 主要なテーマ

イノベーションとテクノロジーが  
デジタル時代における教育を変える

INNOVATION AND TECHNOLOGICAL  
CHANGE EDUCATION IN THE DIGITAL AGE

# 「ヴァーチャルな」 デジタル時代

現実には束縛されない・・・身体的な制約・身体の強靱さ，さらには性別や人種，国籍，身分，外見に囚われないで，「コンピュータを利用して作り出した」知的な成果が社会において適切に評価されるという期待

# 日本における女性の教育環境

1872年には別学であったが女性のための高等教育機関が開設

でも、高等教育はPOST-SECONDARY

TERTIARYではない

1946年には完全別学廃止

女性も男性と同じ教育機関に進学が可能になったが・・・

高等教育進学率，専攻分野には顕著な差が存在し続けた

# 日本における女性の教育環境

1970年代後半から女性の高等教育進学率は「10%」に

女性を「質の高い労働力」として把握する発言が財界から・・・

# デジタル時代の教育の変化？

1970年代から1980年代にかけて

コンピュータ・サイエンスという専門分野が

世界各地の大学で出現

多くの国では、数学、統計学の延長線上にある研究分野

日本の大学では1980年代から、工学部の情報工学・・・

理論ではなく、実践的な分野という認識？

# 日本における女性の教育環境

1985年のCEDAW批准

「質の高い労働力」とは？

デジタル時代に即した数学・統計学を奨励する代わりに  
女性を対象とするコース制を新設

女性は恒常的な男性労働に対する補完的存在？

性別役割分担意識を反映する行動規範が存続

# 日本における女性の教育環境

(女性だけではないが) STEM教育が不十分  
デジタル時代に対応する人材が全体として不足

2020年代, 日本政府は, 国立・私立の女子大学に工学部を  
設立し, 既存の理系学部に対して「女性枠」設定を促すな  
ど・・・女性教員と学生の割合を増加させるという政策を  
採用

社会における「STEMは女性に向かない」という偏見の是正に努めている

デジタル時代， 変えるためには . . .

中学生・高校生・大学生に働きかける

デジタルをインクルーシヴに変容する

教育の価値を再認識する

「クリティカル・マス」になった少数者の存在は，  
社会風土・人々の認識を変えていく . . .

# デジタル時代とは 人の可能性・選択の幅を広げること

より多くの女性がSTEM分野で積極的に活躍することは重要

だが、社会が一方向的に設けた「障壁」のせいで  
これまで活躍する機会が乏しかったさまざまな人たちがもっとた  
くさん積極的に「何か」できるようになることが

## デジタル時代の本当の姿

デジタル時代とは  
人の可能性・選択の幅を広げること

イノベーションと変容を実現するには

少数者がクリティカル・マスを達成するのでは不十分

少数者を「足して混ぜ、同化」することが目的ではない

# デジタル時代とは 人の可能性・選択の幅を広げること

無意識な偏見・性差別についての「社会風土\*」が人々の可能性, 選択の幅を, 根拠なく狭めているとすれば, 社会全体にとって望ましいことではない。

\* 横山広美『なぜ理系に女性が少ないのか』参照

女子大学の工学部は  
女性の「可能性」, 「選択肢」を見えやすくする

生徒たちに対する親の世代の影響力は大きい

女子大学工学部設置は選択の可能性を広げる？

「社会風土」に内在する思い込みや不安を  
払拭できるとの「期待」

本当に必要なのは・・・

社会が平等についての基本的な考え方を  
広く共有

性別だけでなく

国籍や民族・人種

さまざまな「他の人と違うこと＝障碍？」

それでも、人として「平等」

最後に・・・デジタル時代と性差？

ヴァーチャルなデジタル時代ならば、

性別は「見えない」は、本当か？

なぜか、ヴァーチャル社会にも「レイプ」が存在！！！！

現実の性別とは別の

「他者に従属を強いる支配の論理」

## 平等とは

人のさまざまな属性を無視しないで  
人として尊重すること  
敬意を払うこと

さまざまな年代の女性たちが、自らの能力を発揮し、自ら決定し、実行に移して、目標を実現し、それを自らの成果として広く認知されるという『力』を獲得すること、つまり、**女性たちのエンパワーメント**は、誰か他の人から「能力発揮の機会」、「決定の機会」、「成果の認知」を奪うものではありません。「支配の論理」ではないのです。

本当の意味での平等は  
「エンパワーメント」の理解と実現を  
促進します

CSWは  
平等と開発と平和の実現を目指しています

皆様とご一緒に、本当の意味での平等実現を、  
私たち 3つのNGOsは目指しています

ご清聴、ありがとうございました